

(1) たんの吸引「**実地研修**」
口腔内吸引(通常手順) 指導者評価票

あなたが指導している介護職員は下記の**業務内容**について、どの程度達成できているかア～エで判断し、
 全部アならば○、それ以外の場合は×を記入してください。

※業務内容については、**手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと**

記入見本
 神奈川県高齢者福祉施設協議会

達成度	ア. 1人で実施し、手引きの手順どおりに実施できている
	イ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した
	ウ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した(その場では見過ごせないレベル)
	エ. 1人での実施を任せられるレベルにはない

受講者氏名:		<ul style="list-style-type: none"> ● 続けて数人の吸引をする場合は、5分程度の準備時間を空けて記入してください。 ● 口腔と鼻腔内の吸引は、準備・観察時間として2～3分空けて記入してください。 ● 続けて数人の経管栄養を行う場合は、10分程度の準備時間を空けて記入してください。 ● 吸引の後に経管栄養を続けて行う場合は、10分程度の準備時間を空けてください。 						
		例	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目	
		10/5						
		14:00						
準備	1 医師の指示	ア						
	2 手洗いを行う	ア						
実施	3 必要物品を準備する	ア						
	4 必要物品を利用者に届ける	ア						
	5 利用者に吸引の準備を説明する	ア						
	6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える	ア						
	7 口腔内・鼻腔内を観察する	ア						
	8 手袋を着用する	ア						
	吸引の実施	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア					
		10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する(浸漬法の場合は)吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア					
		11 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア					
		12 吸引チューブの先端の水をよく切る	イ	ア				
		13 利用者に吸引開始について声かけを行う	イ	ア				
		14 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア	イ				
		15 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア	ウ				
		16 吸引チューブを静かに抜く	ア					
		17 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア					
		18 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア					
19 吸引器の電源を切る	ア							
20 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す又は破棄する	ア							
21 手袋をはずす	ア							
22 利用者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア							
23 吸引物及び利用者の状態を観察する	ア							
24 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア							
25 手洗いをする	ア							
報告	26 吸引物及び利用者の状態を報告する	ア						
	27 ヒヤリハット・アクシデントの有無を報告をする	ア						
片付け	28 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる	ア						
	29 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する	ア						
記録	30 ケアの実施の証明およびケアプランに活用できるように記録する	ア						
全部「ア」ならば○を記入する。1つでも「イ、ウ、エ」があれば不成功と判断し×を記入		×						

回数・月日・時刻は必ず記入してください。

訂正される場合は、指導看護師の印鑑で訂正印を押印してください。

全ての□に、ア～エの達成度を記入してください。

ヒヤリハット・アクシデントの有無を必ず報告させてください。

排液については、捨てていなくても「70%～80%になっていない事を確認しました」と報告して、(ア)と評価してください。

指導講師の署名⇒

● 全てアの場合○を記入
 それ以外は×を記入のこと
 ● その下に、指導看護師の署名(押印)をしてください。